

オカダアイヨン株式会社 (東証一部 6294)

2022/3期1Q決算説明資料



2021.6月開催 オカダ大展示会
@さいたまスーパーアリーナ



会社概要（21/3月現在）



創 業 1938年7月（設立1960年）

事業内容 建設機械及び林業機械の製造、販売、修理

資 本 金 2,221百万円

従 業 員 451名（連結）

売 上 高 17,591百万円

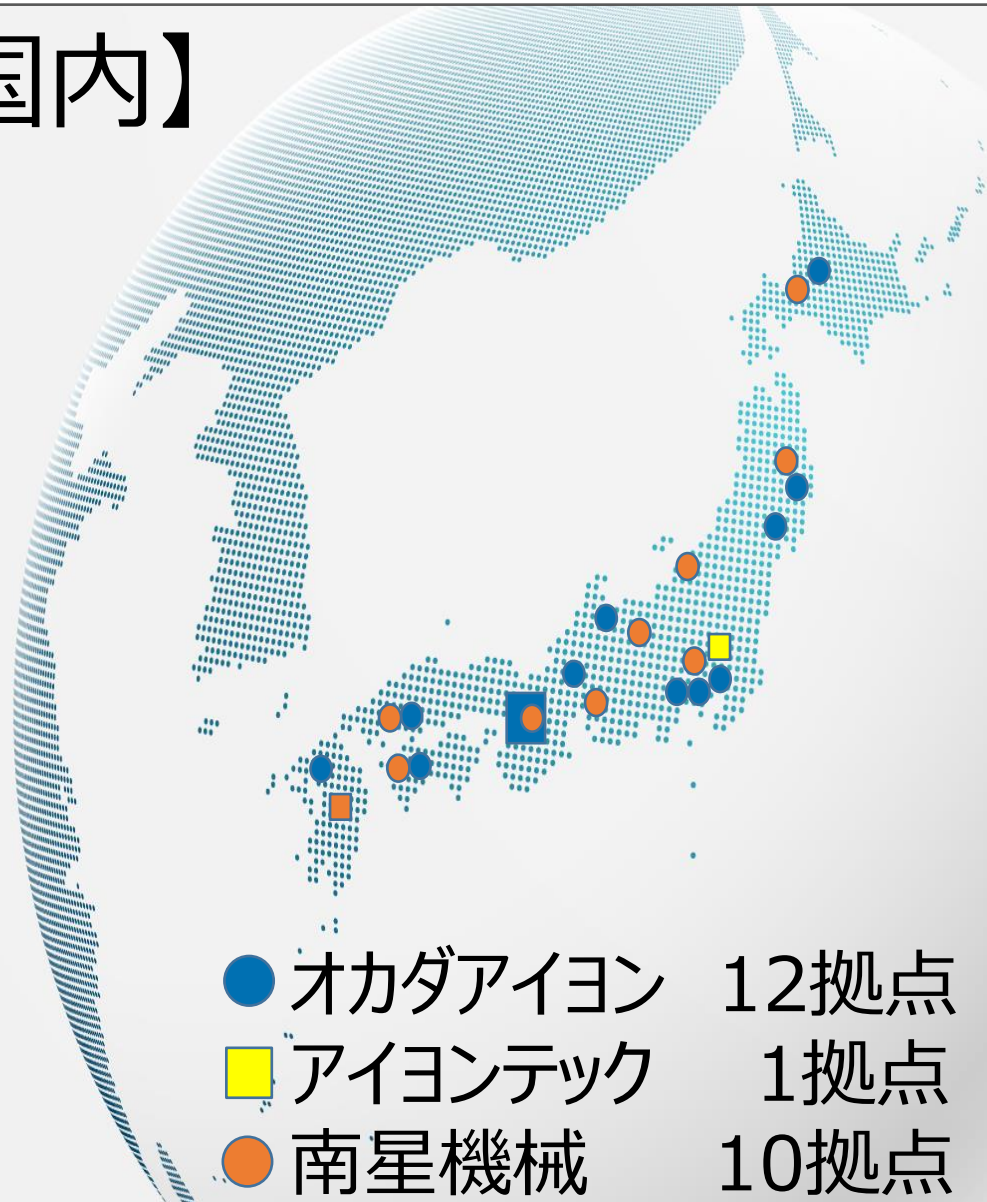
拠 点
（グループ計） 国内23、海外5

本社外観（大阪市港区）



拠点

【国内】



【海外】



当社の歩み

**鑿岩機から都市解体需要まで、
解体用アタッチメント開発・販売を中心に成長してきました**

直近約30年
売上高推移

1938 創業

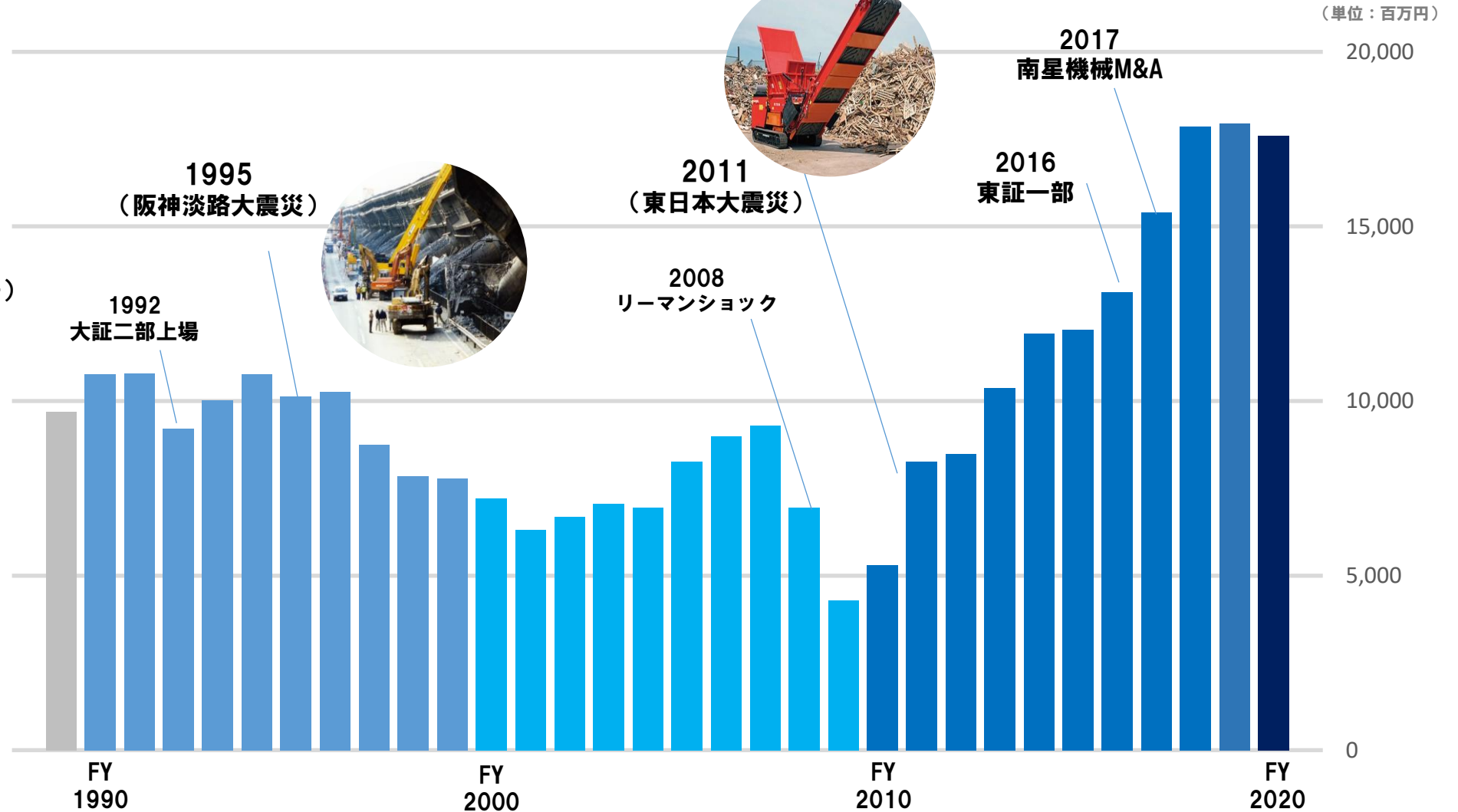
1951頃
(鑿岩機工法)
さくがんき



1960頃 (大型エアブレーカ登場)



1970代後半 (圧砕工法登場)



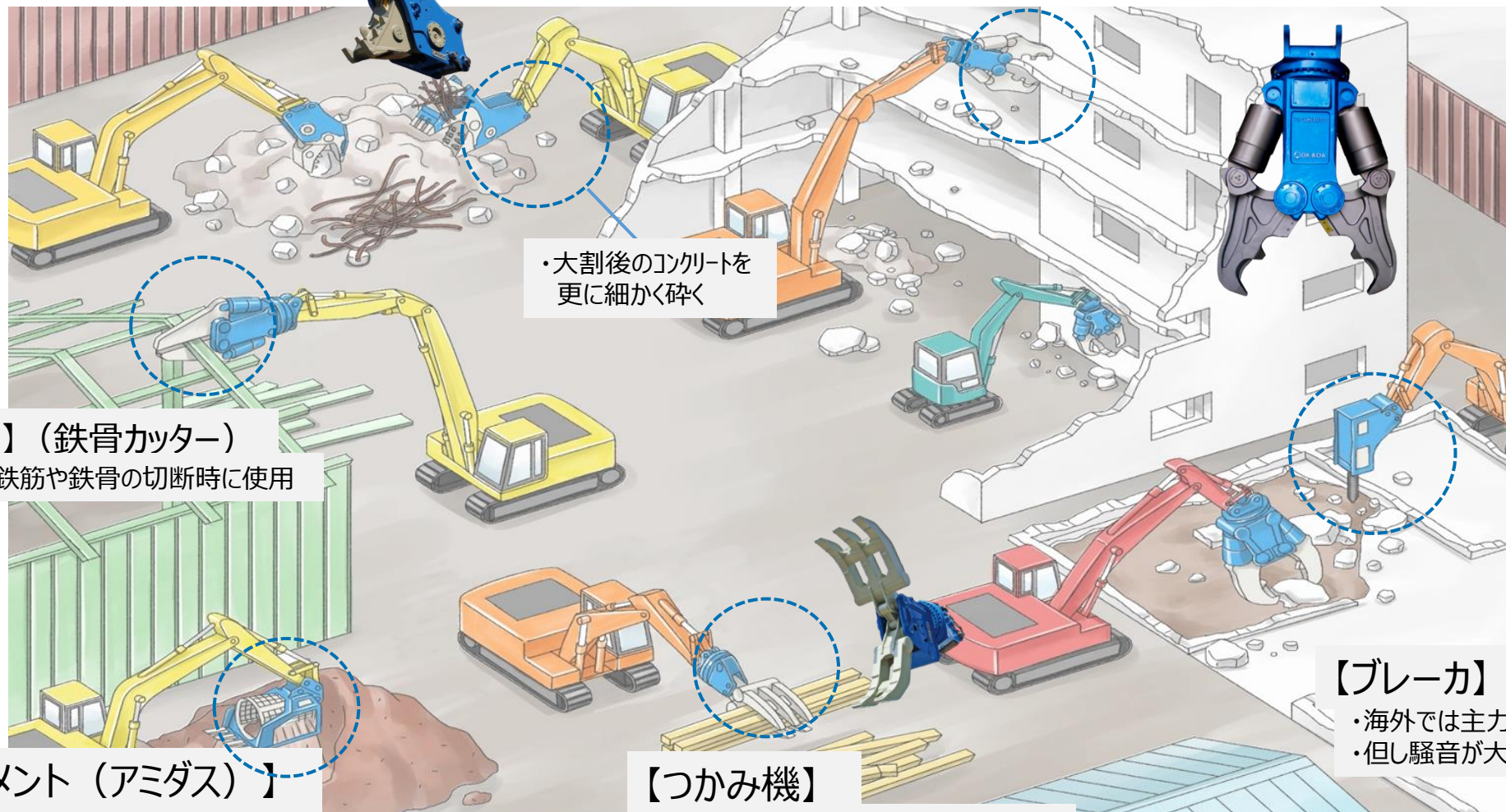
商品用途（解体環境アタッチメント）



～国内外全メーカーのショベルに取付可能～

【圧砕機】（小割機）

【圧砕機】（大割機） ・ビル解体時に主要部分を解体



・大割後のコンクリートを更に細かく砕く

【圧砕機】（鉄骨カッター）

・鉄筋や鉄骨の切断時に使用

【ブレーカ】

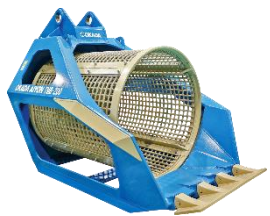
・海外では主力、破砕力も抜群
・但し騒音大きい

【環境アタッチメント（アミダス）】

・ショベルに負担を掛けず、
様々な混合物を選別／ふるい

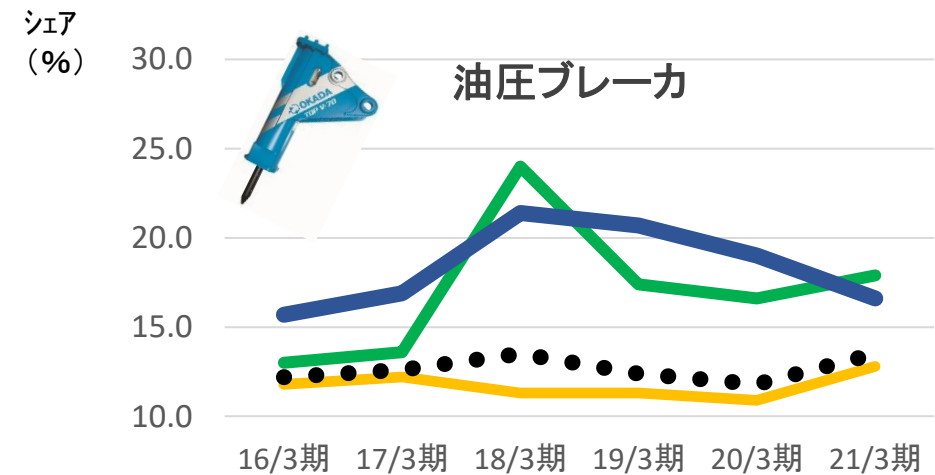
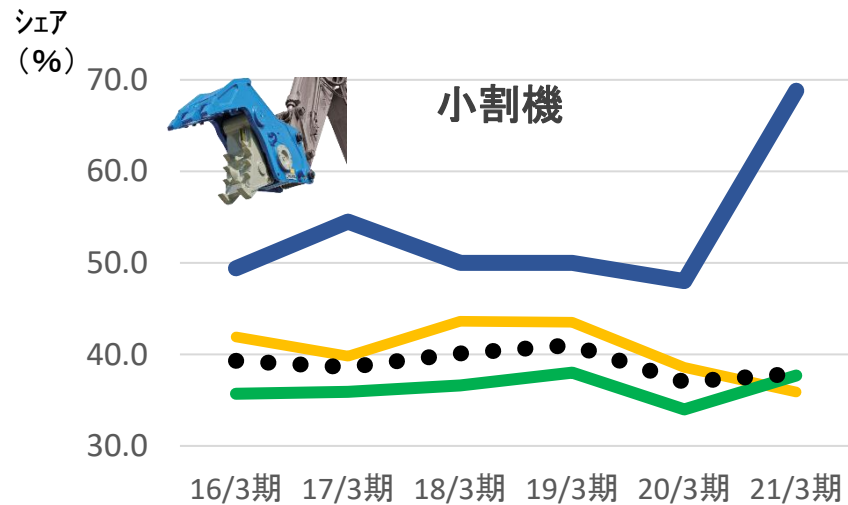
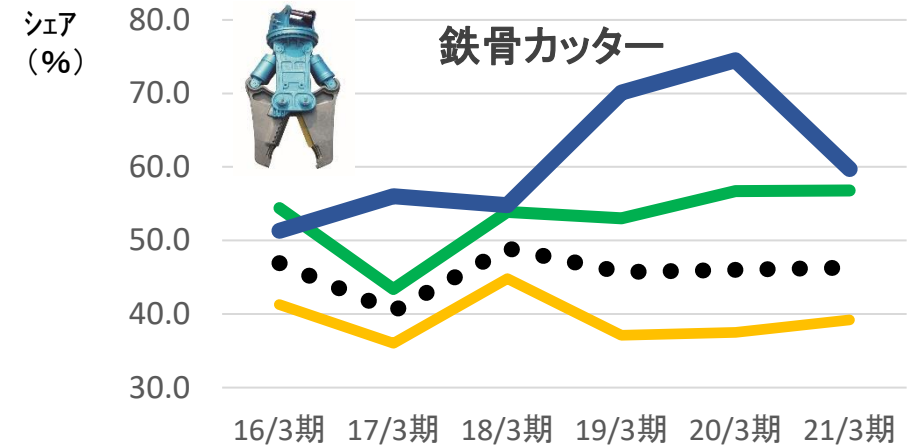
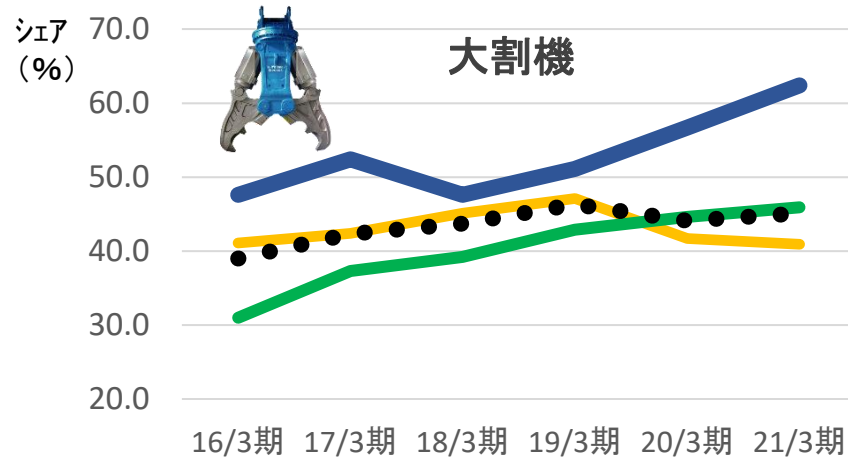
【つかみ機】

・木造家屋解体やスクラップ集材、
災害時にも活躍する万能機



国内主力商品クラス別シェア

～取付ショベルクラス 30トン以上の大型機に強みを発揮～



全体シェア ●●● 30トン以上 ■ 20トン以上30トン未満 ■ 20トン未満 ■

商品用途（大型環境機械）



【中低速回転機】



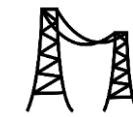
- 大きな丸太から破碎可能
- 東北震災時にはガレキ処理で活躍

【高速回転機】

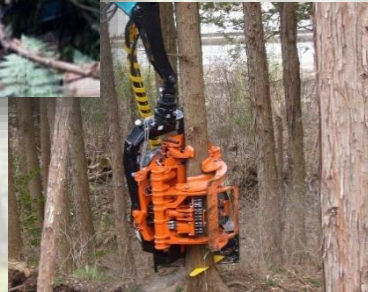


- 木材を木片チップに切削
- チップはバイオマス発電等で活用

商品用途（林業機械・ケーブルクレーン）

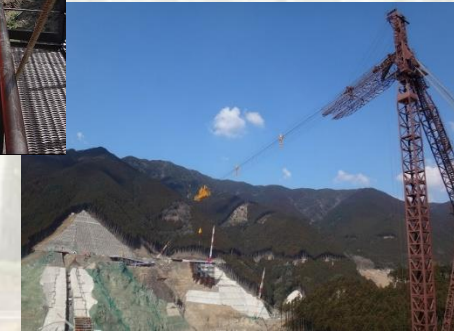


【林業機械】

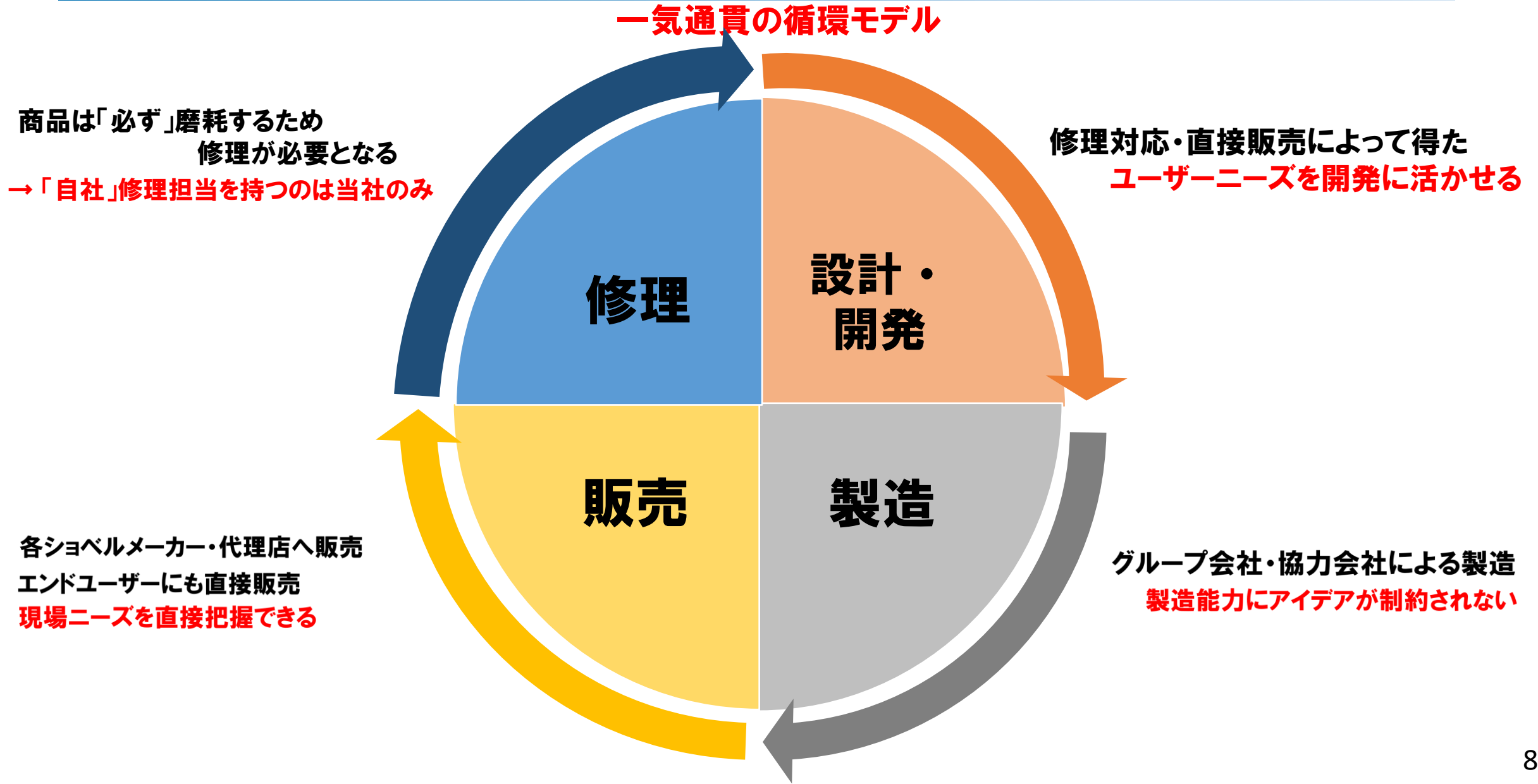


- ・森林にて木材を伐採
- ・枝払い、剪定、運搬までこなす

【発電所・ダム建設用
ケーブルクレーン等】



- ・道の無い山の斜面での
生コンクリート・資材等の運搬に



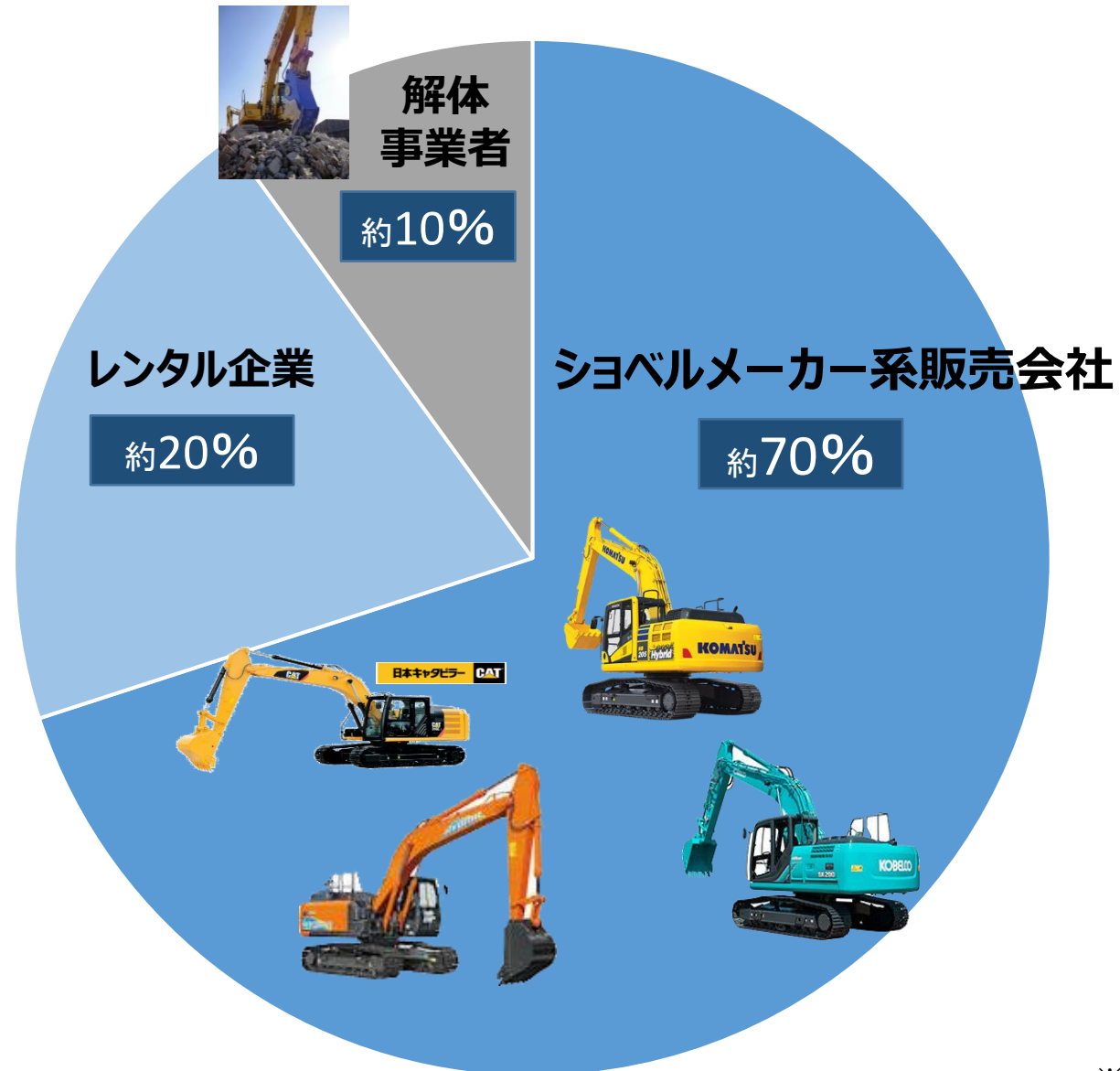
商品販売先（国内）



レントリ-グループ

kanamoto

(他、各地域レンタル企業様)



業績サマリー (2022/3月期1Q)



売上高

4,660百万円
(前年比+16.9%)

営業利益

429百万円
(前年比+16.7%)

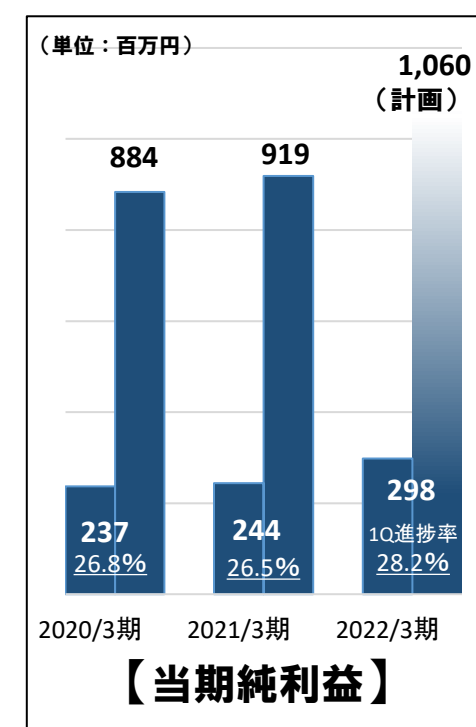
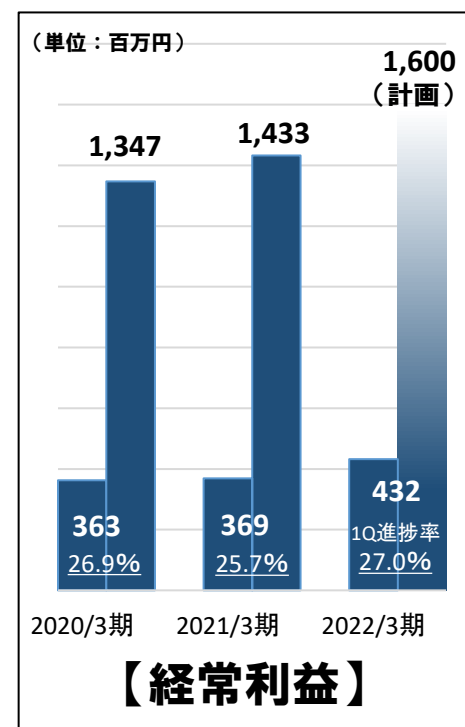
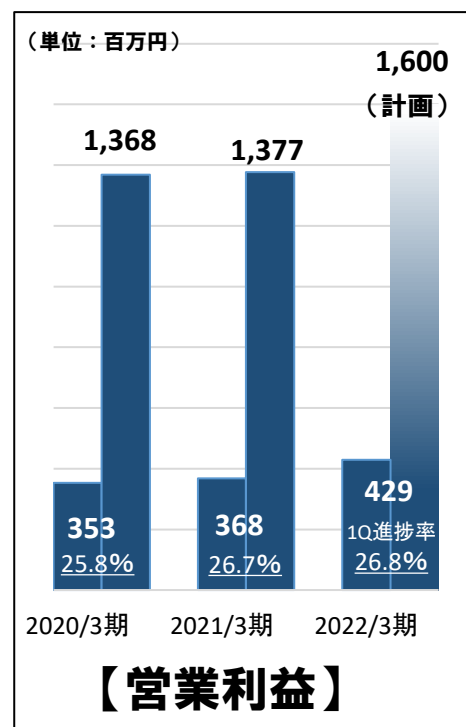
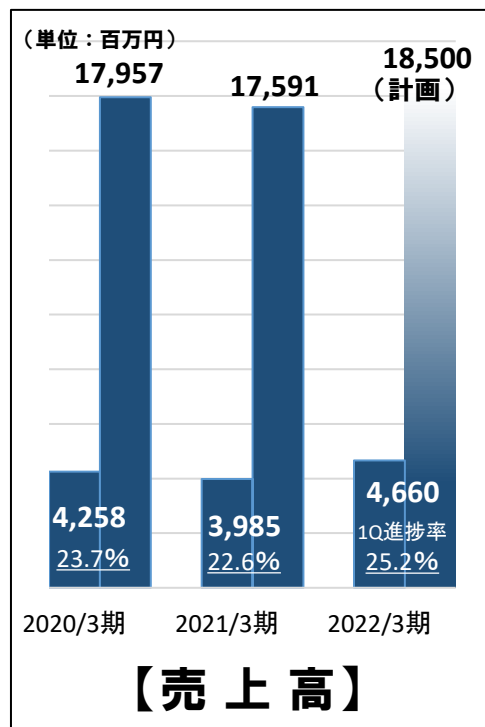
経常利益

432百万円
(前年比+17.0%)

当期純利益

298百万円
(前年比+22.1%)

(各期グラフの上段は通期/下段数値は1Q・計画進捗率)



2022年3月期第1四半期業績及び通期見通し



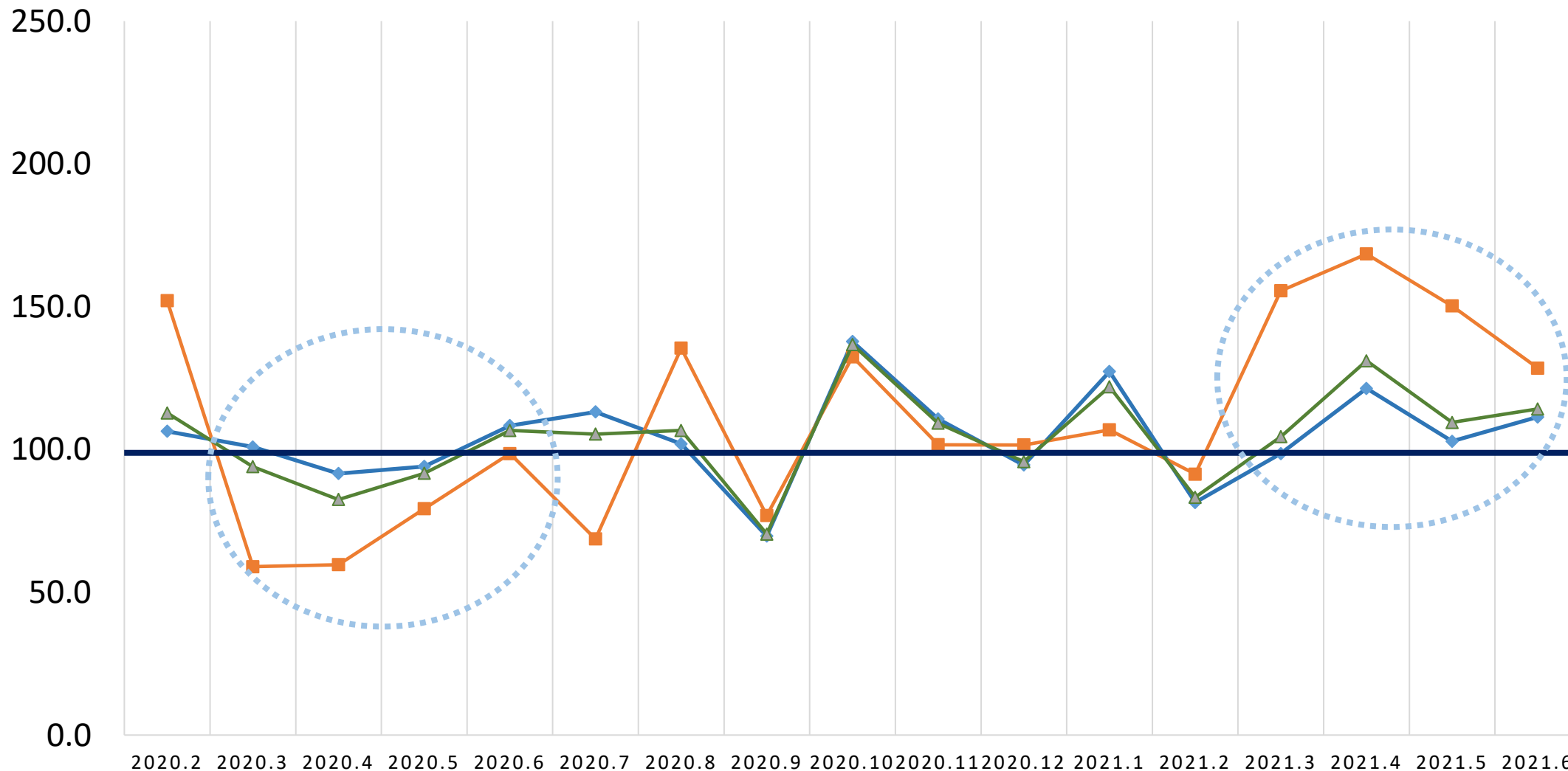
(百万円)	21/3期 1Q実績	22/3期 1Q実績	前年 同期比		22/3期 見通し (2021/5/13公表)	進捗率 (%)
			増減(額)	増減(%)		
売上高	3,985	4,660	675	16.9	18,500	25.2
売上総利益	1,219	1,394	175	14.4	5,580	25.0
販売費及び 一般管理費	851	965	114	13.4	3,980	24.3
営業利益	368	429	61	16.7	1,600	26.8
経常利益	369	432	62	17.0	1,600	27.0
四半期純利益 (当社株主帰属)	244	298	54	22.1	1,060	28.2

コロナウイルス禍のセグメント別売上状況



(前年同月比：単位%)

◆国内 ■海外 ▲連結計



20/2~
21/6
累計
(前年同期比)

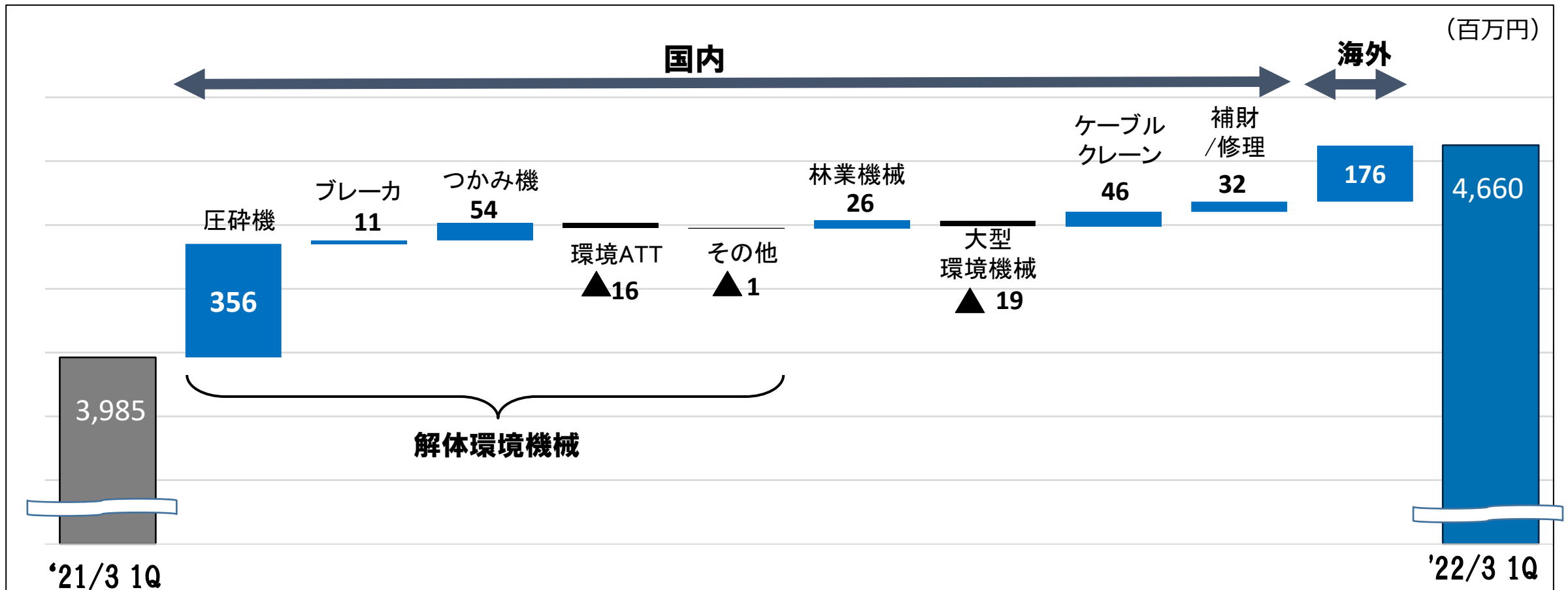
国内
101.2

海外
104.4

連結計
101.7

売上高増減要因

- 国内は、再開発・建替需要堅調で主力の圧砕機好調、「OKADA大展示会」の受注が大きく寄与
- 海外は、欧州・アジアは販売店網拡大・現法化で大幅増、北米微増収も今後の経済政策に期待



機種別売上（1Q推移）



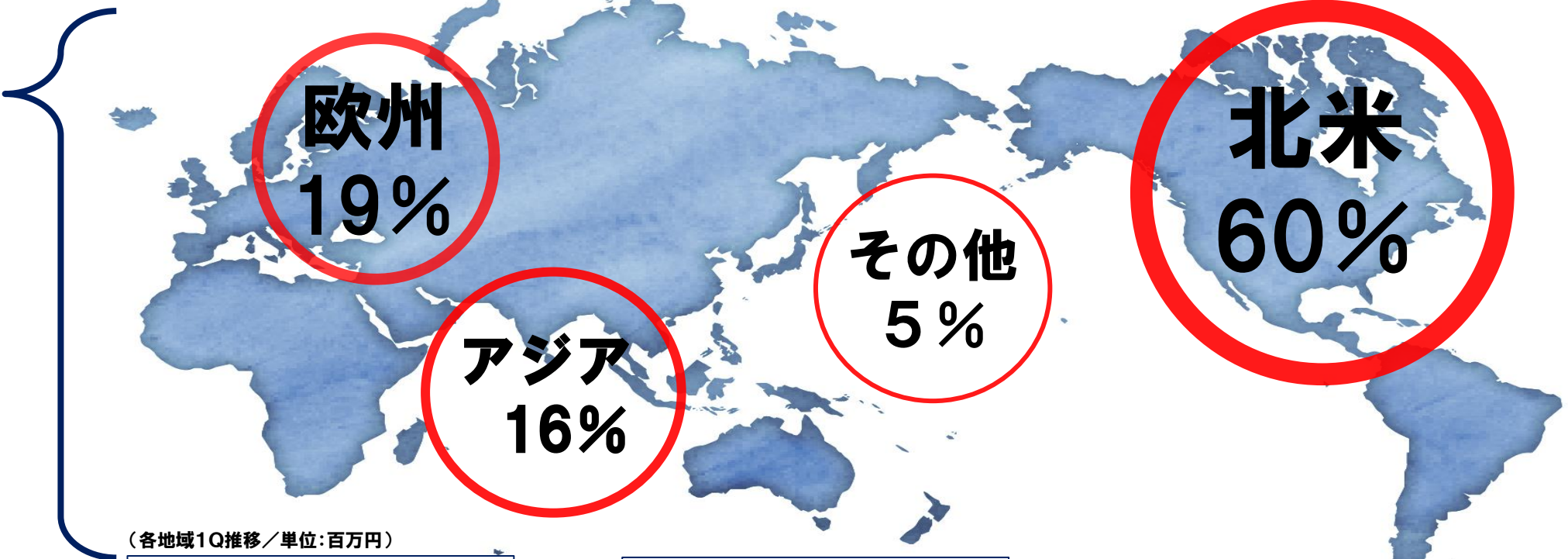
● 第1四半期連結累計期間よりセグメント区分を変更し、変更後のセグメント区分に組み替えて行っております

(百万円)

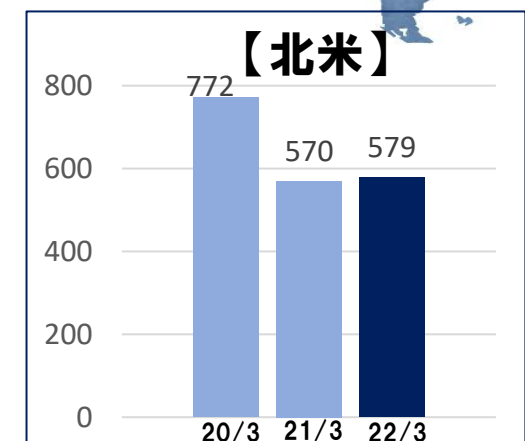
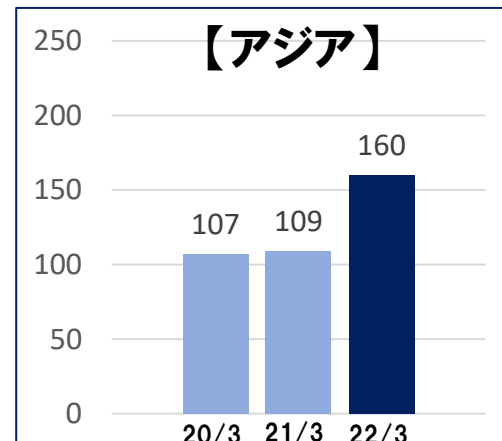
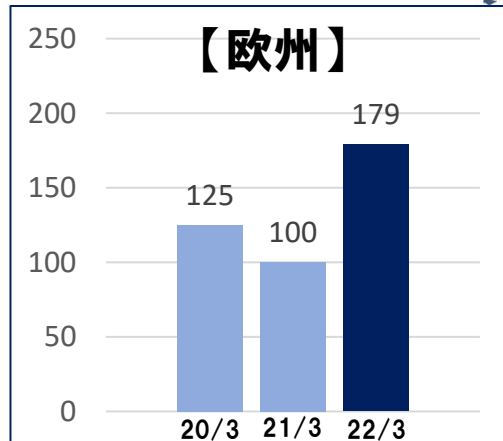
		20/3期1Q	21/3期1Q	22/3期1Q	前期比		前々期比	
					金額	増減(%)	増減(%)	
国内	解体環境 アタッチメント	圧碎機	1,248	1,032	1,389	356	34.5	11.3
		ブレーカ	181	173	184	11	6.4	1.6
		つかみ機	180	216	271	54	25.2	50.2
		環境アタッチメント	136	159	143	△ 16	△ 10.3	4.6
		その他	185	199	198	△ 1	△ 0.5	7.2
		計	1,932	1,782	2,186	404	22.7	13.1
		林業機械	126	126	153	26	21.3	20.6
		大型環境機械	115	360	340	△ 19	△ 5.5	195.3
		ケーブルクレーン	250	222	268	46	20.7	7.1
		補材	448	393	417	23	6.0	△ 6.9
		修理	182	178	188	9	5.6	3.7
		その他	176	127	134	7	5.9	△ 23.6
	国内セグメント計		3,232	3,191	3,690	498	15.6	14.2
海外セグメント計		1,025	793	969	176	22.2	△ 5.5	
連結計		4,258	3,985	4,660	675	16.9	9.4	

海外販売先 内訳 (2022/3月期1Q)

(販売構成)

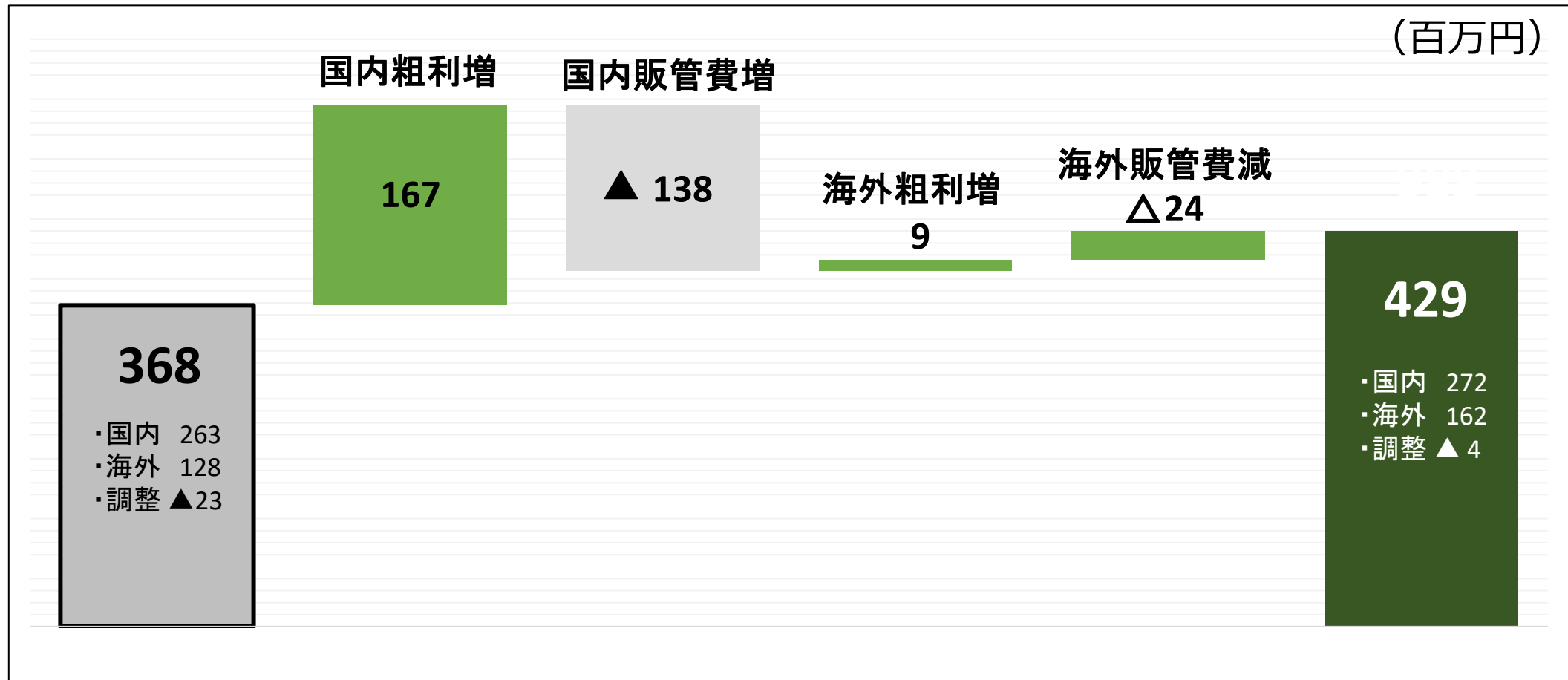


(各地域1Q推移/単位:百万円)



営業利益増減要因

- 国内は売上増に伴う粗利増加、但し展示会など一過性費用発生により微増益（前年比+3.4%）
- 海外は米子会社にてコロナ対策の「給与保護プログラム」認可も寄与して増益（同+26.6%）



トピックス①：「オカダ大展示会」



◆ 2021年6月2日（水）～3日（木）@さいたまスーパーアリーナ / 来場者数 1,883名+Youtubeライブ配信実施

NEW 大割機TSWD-2200V



NEW 鉄骨カッター-TS-W1300CV



NEW ストロークプロセッサNSP-45



NEW オカダハイブリットバケットOHB-120



トピックス②：アタッチメント補償制度の導入

Support
サポート

安心のために

ご購入後も、安心してお使いいただくために、
充実したサポート体制を備えています。



主力製品・TSシリーズの保証期間を、半年から **2年に延長**
(弊社受付の修理対応のみ)

- ・アタッチメントをぶつけて、爪が破損してしまった...
- ・アタッチメントの脱着時に落として破損してしまった...
- ・火災、爆発でアタッチメントが破損してしまった...



必ずメンテナンスが必要となる商品だからこそ、
お客様に更なる「安心」と「安全」をご提供

トピックス③：国内拠点の充実

【拠点リニューアル推移】

- 2015年：アイオンテック増設
- 2017年：北陸営業所移転新設
- 2019年：四国営業所移転新設
- 2020年：湘南営業所移転新設
：九州営業所第二工場兼倉庫
- 2021年：中部営業所建替え（※）
：広島営業所移転新設（※）
- 2022年：仙台営業所移転新設（※）

（※）は進行中

◆営業所移転新設リニューアルの推進

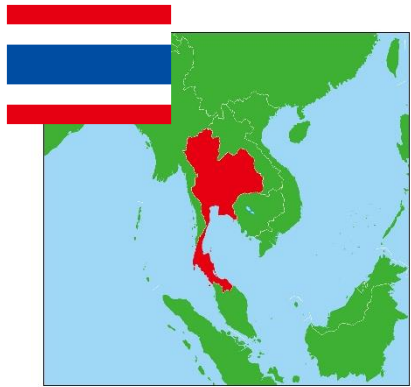
- ・省人化対応のための機械大型化に伴い、クレーン設備の充実が急務
- ・今後も引き続き全国各地の営業所リニューアル予定
- ・広島営業所は10月初旬完成予定、
中部営業所は2022年1月、仙台営業所は同4月完成予定



※新・中部営業所イメージ図

トピックス④：海外拠点整備・製造

◆タイ駐在員事務所の現地法人化完了



- ・2021年5月バンコクに移転し現法化
- ・22/3期1Qアジア売上は160百万円
(前年同期比+46.9%)



◆オカダアメリカ本社移転拡張



- ・最注力の米国市場で
更なるシェア拡大を狙う



◆ベトナムでの製造対応



- ・コロナ影響により稼働予定に遅れが発生
- ・量産体制を2021年中に確立する予定

VISION30 ステイトメント

スローガン

人は**環境**をつくる

価値観

- 【社風】個人尊重・自由奔放・一体感のある社風
- 【ビジネス】ユーザーに寄り添った商品・サービスの提供
- 【社会性】環境問題などの社会課題の解決につながる事業拡大

環境に流されずに環境づくりができる人材を育成し、
事業を通じて環境にやさしい社会の実現に貢献する。

VISION30 業績評価指標(KPI)

トリプル

3

売上高	300億円以上
営業利益	30億円以上
時価総額	300億円以上

トリプル

10

売上高伸び率	10%以上
売上高営業利益率	10%以上
ROE	10%以上

ESG経営の実践

VISION30の達成

目指す姿

Go To The Next Stage

ONE

国内ダントツ
No. 1

世界Tier
1

ONLY
1

1
TEAM

ALL FOR
1
GOAL

VISION 30 三つの戦略・中期経営計画



● VISION30 3つの戦略

人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ① 人づくり ② 人事制度 ③ 働き方改革 	<p>人材の採用・育成・活用</p> <p>実績・貢献を反映した公明正大な評価・報酬制度</p> <p>働きやすい・働きたくなる・働きがいのある職場づくり</p>
マーケット戦略	<ul style="list-style-type: none"> ① 国内戦略 ② 海外戦略 ③ 新規事業 	<p>需要拡大に対応した一気通貫バリューチェーンの強化</p> <p>米・欧・アジアの3拠点への商材・戦力投入による市場開拓</p> <p>新技術応用(新解体工法、DX等)と戦略的M&Aの推進</p>
経営基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> ① CG体制 ② ハード・ウェア ③ ソフト・ウェア 	<p>持続的成長を支えるガバナンス体制の構築</p> <p>国内・海外の工場・営業拠点の整備(増設・新築)</p> <p>システムインフラの整備とDXによる業務改革・顧客対応力進化</p>

● 中期経営計画 ローリングプラン FY2021～FY2023

2023年度の 経営目標	業績計画 (24/3期)		投資計画 (22/3期～24/3期累計)	
	売上高	22,000百万円	設備投資	3,550百万円
	営業利益	2,100百万円	研究開発費	660百万円
	売上高伸び率(前年比)	10.0%	<主な設備投資(予定)>	
	売上高営業利益率	9.5%	広島営業所、中部営業所、仙台営業所、	
	ROE	10.2%	札幌営業所、盛岡営業所、 オカダアメリカ本社、アイオンテック工場	

ESG トピックス（環境 Environment）

～カーボンニュートラル～

当社グループはバイオマスによるカーボンニュートラルの実現を積極的に推進しています

森林の樹木は、光合成によって大気中の二酸化炭素の吸収を行い酸素を放出しています。木材をエネルギーとして燃やすと二酸化炭素を発生しますが、この二酸化炭素は、樹木の伐採後に森林が更新され、樹木が成長する過程で、再び樹木に吸収されます。このように木材のエネルギー活用は、大気中の二酸化炭素に影響を与えないというカーボンニュートラルな特性があります。

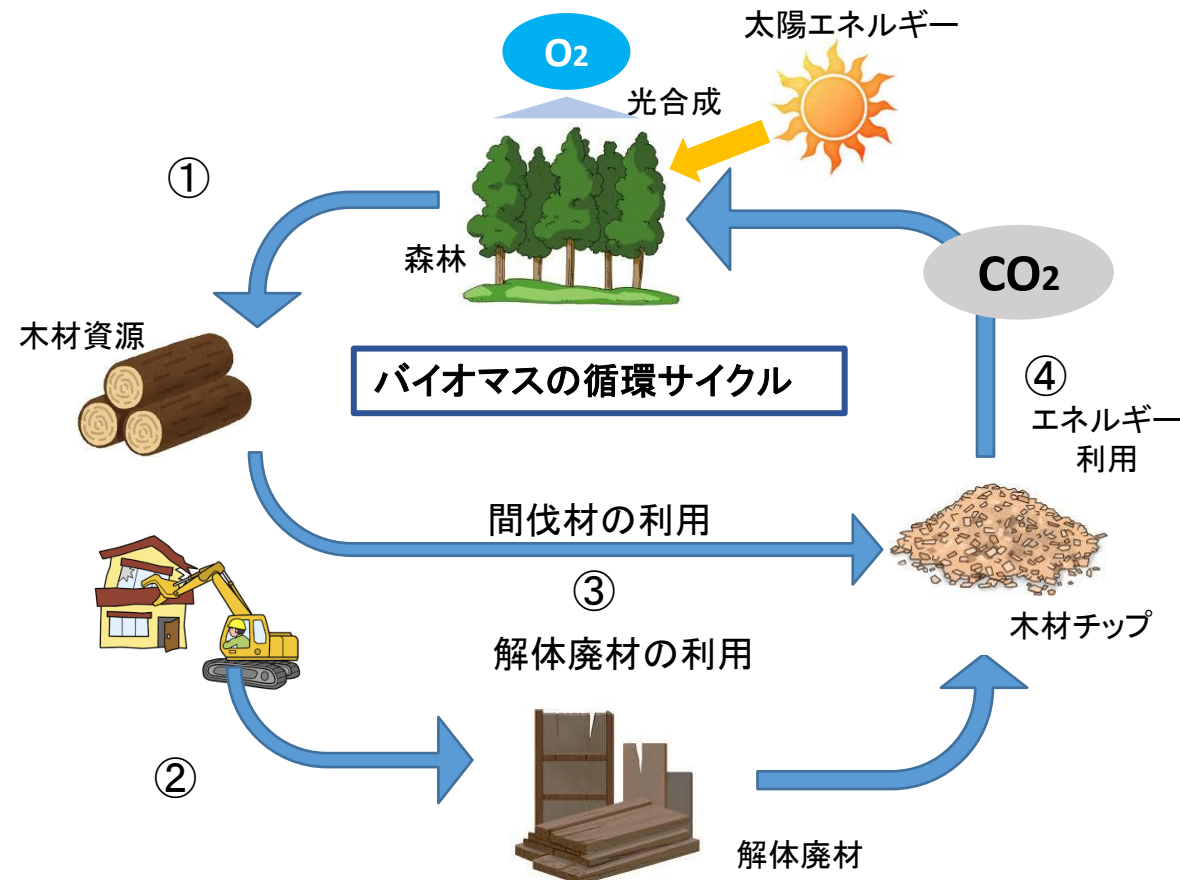
① 林業機械

間伐による森林整備
伐採、集材による木材利用



② 解体アタッチメント

木造家屋の解体
廃材再利用のための分別処理



④ 再生エネ使用100%

当社グループ国内全拠点は
全てバイオマス由来の電気使用



バイオマス発電所

③ 環境関連機器

間伐材・解体廃材のチップ化
(バイオマス発電の燃料)



ESG トピックス（環境 Environment）

SDGs

当社グループは製商品やアフターサービスの提供を通じてSDGsに貢献しています

◆ 都市におけるリサイクルシステムを支える解体・金属リサイクル用機械



ビル解体用
圧碎機（鉄骨カッター）



軟質系廃棄物処理用
クリーンカッター



鉄スクラップ運搬用
スクラップグラップル



ガレキ処理用
大型木材破砕機



◆ 国内の山地・森林資源の有効活用にご貢献する林業機械やケーブルクレーン



伐採・枝払い・切断用
高性能林業機械



木材運搬用
ウインチ



間伐材等のチップ製作用
木材チップパー



水力発電改修用運搬設備
ケーブルクレーン

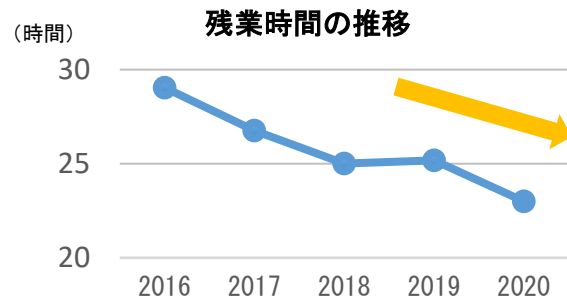


ESG トピックス（社会 Social）

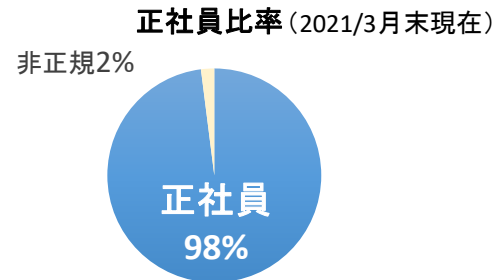
当社グループは、「人を大事に」のトップ方針のもと、社員の働き方改革やダイバーシティ等の実現に向けて注力しています

◆ 働き方改革 ～働きやすい、働きたくなる、働きがいのある会社を目指して～

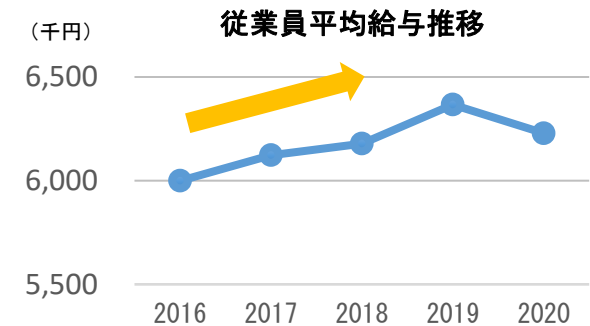
- ① 適切な労働時間管理
36協定の遵守
1分単位の適正な時間管理



- ② 同一労働同一賃金
原則正社員化
定年再雇用後も原則給与水準維持

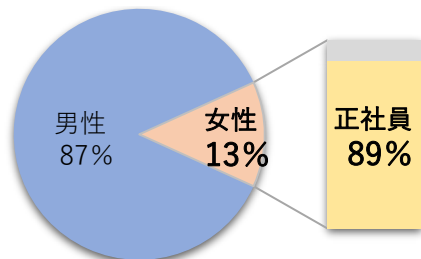


- ③ 安定・安心な雇用確保
70歳まで雇用確保
給与等社員待遇の向上

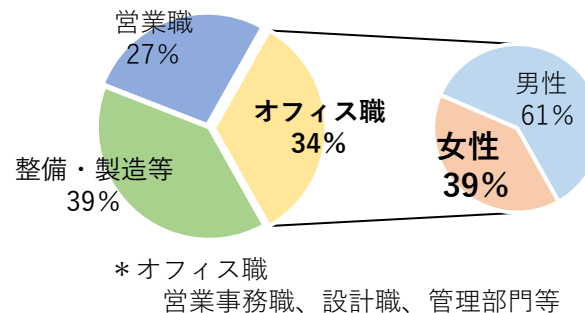


◆ ダイバーシティ ～人材の多様性と適材適所～ (各比率は2021/3月末現在)

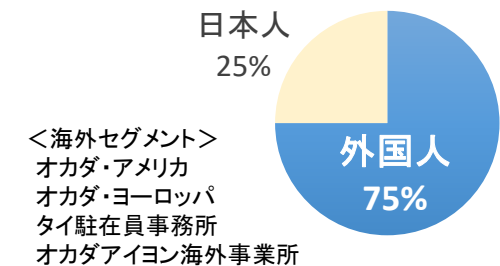
女性比率と女性正社員比率



オフィス職の女性比率



海外セグメントの外国人比率



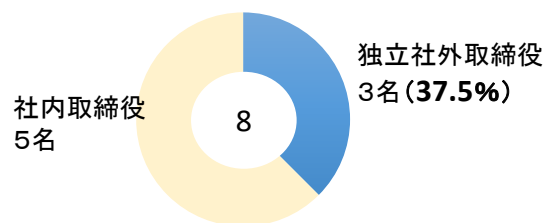
ESG トピックス (ガバナンス Governance)



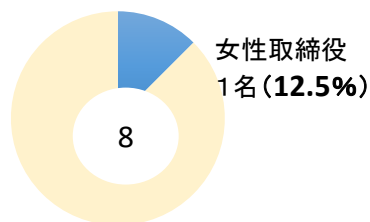
当社グループは、誠実で(Integrity)、透明性高く(Open)、積極的な(Active)経営判断ができるコーポレートガバナンス体制を目指しています

① 取締役会の構成 (2021年3月末現在)

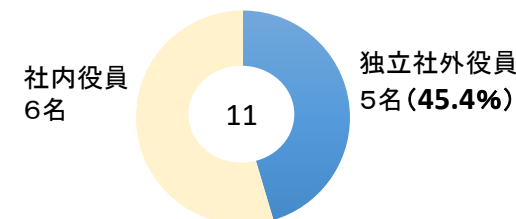
独立社外取締役比率



女性取締役比率



独立社外役員(監査役含む)比率



② 外部機関による取締役会の実効性評価実施

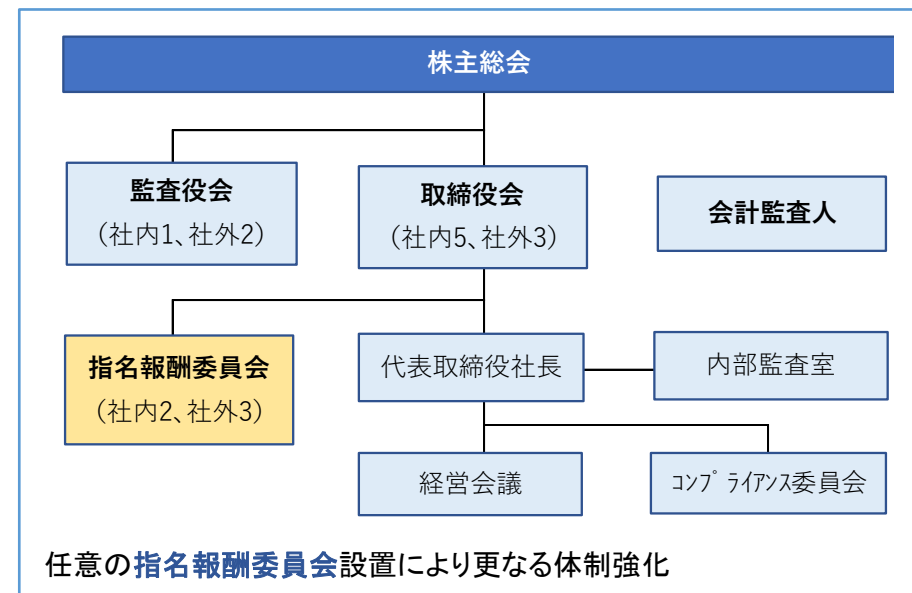
(実効性評価 意見反映事項)

- ・指名報酬に関する任意の諮問機関の設置
- ・付議事項や報告事項を見直し、重要事項の検討を重視
- ・社外取締役と監査役の情報共有の場を設置
- ・IR体制の強化

③ 2020年度に実施したガバナンス強化策

- ・任意の**指名報酬委員会**を設置
- ・初の**女性社外取締役**を選任
- ・議決権の電子行使を導入
- ・**IR担当チーム**を創設し、IR体制を強化

④ 2021年度ガバナンス体制



<注意事項>

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は今後種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。